



No. 284 2016年 6月 1日 発行

オートテストオーガナイザーガイドライン改正について

昨年、新種競技として導入した「オートテスト」につきまして、オートテストオーガナイザーガイドラインを以下の通り改正いたしましたのでお知らせいたします。

2016年6月1日

<Ver. 2>

オートテスト

オーガナイザーガイドライン

下線部追加および修正箇所

1 目的

本ガイドの目的は、オートテストの開催を計画している、または開催するオーガナイザーを支援することにあります。掲示している指針を参考とすることで、参加者、オフィシャルおよび観客がモータースポーツへの興味を深め楽しんで頂く一助として活用してください。

参加料については、家族や友人同士で観光施設、テーマパークやアミューズメントパークに行く際に支払う金額を参考に、参加料が高額であることで参加を見送ることがないように配慮してください。

本ガイドは、開催前、開催当日および終了後の作業手順等について以下の項目ごとに説明しています。

(1) 開催前

- ①競技会特別規則書
- ②連絡事項
- ③コース設定
- ④保険

(2) 開催当日

- ①オートテスト
- ②車両チェック
- ③コースマーシャル
- ④競技会審査委員会
- ⑤計時

(3) 終了後

添付書類：

マーシャルに対する参考書面（添付書類1）

スタート／フィニッシュ配置（添付書類2）

2 競技会特別規則書

国内競技規則4-8に基づく事項を記載していただくこととなりますが、参加者にとって分かり易い内容で、且つ丁寧な表記とすることに配慮してください。

(1) 参加台数および車種に基づき、複数のクラスを設定することを検討してください。

(2) ミスコースを定義することは、参加者とマーシャルが共通の認識を持つこととなり、ミスコースの疑義を生じさせないためにも具体的に記載することを検討してください。

(3) オーガナイザーは、遅延エントリーとは反対に早期エントリーについての特典等を考慮してください。

(4) JAF会員・非会員、あるいは事前申込か否か等を考慮した、参加料金を設定するにようにしてください。

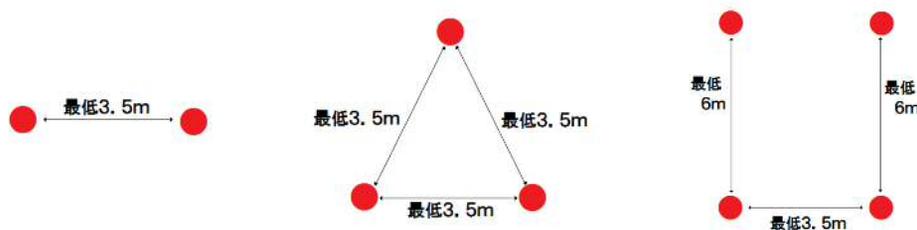
(5) 規則書、参加受理通知等の参加者との連絡手段は、Eメール等の電子媒体を用いることを推奨します。なお、参加登録申込は、国内競技規則4-17に基づき、必要とされる参加料が添付され、定められた期間内に発せられることが条件となることに留意してください。

3 連絡事項

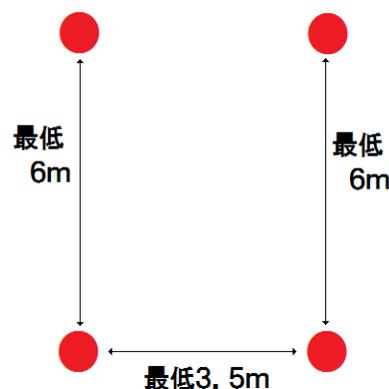
- (1) 参加者が開催地に迷わずに行くことができるよう、参照地図に加えて、簡単明瞭な道順が示されることが推奨されます。
- (2) オートテスト開催会場に使用可能な簡易トイレ（男女別）を設置することが強く推奨されます。また、会場内で参加者への飲食物販売・提供について、あるいは開催場所周辺の参加者が利用可能なトイレやコンビニエンスストア等の施設を示すことが推奨されます。
- (3) オートテスト当日等に参加者に問題が発生した場合、その参加者がオーガナイザーと連絡がとれるよう、オーガナイザー（担当者）の1つまたは2つ以上の携帯電話番号を提示することが推奨されます。
- (4) 設定予定コース図は、オートテスト開催日前にHP等で全参加者に提示されることが推奨されます。

4 コース設定

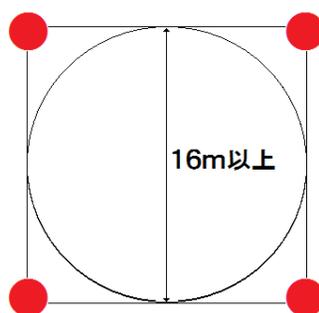
- (1) 参加ドライバーの経験や参加車両の車種等を考慮して、以下の点に配慮してコースを設定してください。
 - ①参加車両の変速形式（AT、CVT、MT等）を考慮した上で瞬間最高速度は50km/h以下となるコースを設定してください。
 - ②特に未経験者や初心者を対象とした場合は、走行タイムが平均30秒程度となるコースを設定することが推奨されます。
 - ③コースは大きなセダンカーや大型の乗用車にも十分余裕のある設定とし、ハンドブレーキ（フットブレーキ）などを使用せずに運転できる設定を推奨します。
また、大きなセダンカーのクラスを設ける場合は、360度ターンや180度ターンなどの過度な技術を避ける単純化されたコースを設定することが推奨されます。
 - ④開催場所の広さ等にもよりますが、同一開催場所内に複数のコースを設定することも検討してください。
 - ⑤マーカー（パイロン等）は、参加者が明確に認識できるように配慮してください。
 - ⑥マーカー（パイロン等）を進行方向に倒し誘導することもミスコースを防ぐ1つの方法です。
 - ⑦マーカーとマーカーの間隔およびゲートの間隔は、最低3.5mとしてください。



- ⑧「ガレージ」は最低6mの長さを有し、幅は最低3.5mとしてください。



⑨ボックス内で180度以上のターンを行う場合、ボックスのサイズは直径16m以上の円が内接する大きさを確保してください。



(2) ミスコースをしない、わかりやすい(簡単な)コースの設定および対策をしてください。

例)・パイロンで進行方向を示す。

- ・歩行によるコースの下見ができるようコースオープンの時間を設ける。
- ・インストラクターによる試走をおこなう。

(3) 事故防止のため以下の設定をおこなってください。

- ①スピードを抑制するため、コーナー等の外側には規制パイロン(または規制線)を設置してください。
- ②観衆および関係者の安全を確保するため、会場内には立入りが可能なエリア・不可能なエリアを明確に設定してください。
- ③公認コース以外で開催する場合は、特に安全には配慮してください。

5 保険

(1) 観衆および競技役員(施設賠償保険等も含む)に対する保険は、クローズド格式で開催する場合も付保することを強く推奨とします。

(2) 参加者の保険加入は参加者の自己責任とし、加入または未加入については任意としますが、その旨を事前にお知らせください。

(3) 事故の際、自動車保険(任意保険)は適用とならない旨を事前にお知らせください。

6 オートテスト

(1) オートテストの目的は、ドライバーがその車両を操作する過程で運転技術を確認することにある点を考慮してください。

マーカー(パイロン)間の幅を最小寸法にまで狭くしてタイトなコースを設定することは、ドライバーの運転技術というより車両性能を確認することになり、ドライバーにとっても観客にとってもあまり楽しめるものではなくなります。オートテストにおいては、マーカー(パイロン)間の幅を広げ十分な余裕をもたせることにより、ドライバーに選択範囲を広げ、運転技術をもってベストタイムで走行することとなります。

(2) 参加車両の搭乗者側の窓およびサンルーフを全閉として走行することをお願いしてください。

(3) オートテストの模範走行は義務ではありません。オーガナイザーがそれを公開して、あるいはスポンサー向けに実施する必要がある場合、模範走行を正しく実施することが重要で、可能である場合は大型のセダンカーで行ってください。

(4) 縁石-縁石に当たるあるいは乗り上げることについてはペナルティを課さないことが推奨されます。花壇、表示板あるいは芝を保護したい場合、オーガナイザーはペナルティパイロンを正確な位置に置くことでその問題を解決することができます。縁石に関連してペナルティを適用させる場合、すべてのマーシャルおよびドライバーに周知徹底してください。

(5) ミスコースと判定した場合でもオートテスト完了までに実際計測したタイムも、後に決定が覆された場合に備えて必ず記録してください。

(6) スタートライン手前で待機する場合、前後の車両の間隔は十分にあげるよう参加者に指示をしてください。

(7) コース上の走行車両は、常に1台となるようにしてください。

(8) 同乗者については以下の通りとしてください。

- ①人数は1名としてください。
- ②年齢は6歳以上とし、且つ身長は140cm以上としてください。
- ③同乗者が20歳未満の場合、親または保護者から同乗に関する同意書を取得してください。

(9) 競技中は、実況や音楽により会場内の雰囲気盛り上がるような配慮をしてください。

7 車両チェック

- (1) 走行前に車両をチェックする区画を設定することが推奨されます。例えば、それがパイロンで囲われた「ボックス」で設定することも1つの方法です。
- (2) 車両チェック用のチェックシートを準備することが推奨されます。

8 コースマーシャル

- (1) 参加ドライバーがオートテストを正確に行っているかどうかを判定する審判員を任命してください。審判員は参加ドライバーに対し目立つ服装をすることが推奨されます。
- (2) 審判員は各参加者の走行判定に責任を負い、ミスコース等すべてのペナルティを判定することと記録する任務を遂行することによって、参加ドライバーとは異なる形でモータースポーツに携わる楽しさがあることを体験させてください。
- (3) マーシャルが注意を怠ることにならないよう、役務を遂行させるために、各担当マーシャルに必要な緑旗、黄旗、赤旗および黒旗を準備し、ペナルティが発生したか否かをその旗によって示させ、競技長がそれを把握するまで高く持ち上げられることが推奨されます。
- (4) マーシャルに対する書面によるブリーフィング形式書面を参考としてください。

9 競技会審査委員会

競技会審査委員会は、国内競技規則10-10に規定する権限を有するとともに、コースの安全性について配慮し万全の事前確認を行ってください。

10 計時

(1) 重要：

競技の終了時点で、ほんの1秒に満たないタイム差が参加ドライバーの優劣を決定する可能性があるため、計測は特に慎重に行われなければなりません。計測手順や装置に不正確さがある場合、不公平な結果を導くことになります。

可能な限り経験豊富な計測担当者を、競技会のタイム計測に従事させてください。全体の計測作業に過ちが起きない様にその計測状況を監督するために1名の計時委員長を置くことが推奨されます。計時作業は、手動式または自動式のストップウォッチで行われ、常に経験豊富なオフィシャルに任せてください。

(2) 計時機器：

計測は、手動式のストップウォッチ、またはストップウォッチや電子計時装置を組み入れた自動式装置で行うことができます。ストップウォッチの精度は証明される必要はありませんが、信頼性があり状態の良いものを用意してください。少なくとも1つの予備のストップウォッチを準備しておくことが推奨されます。イベントを通して同じオフィシャルが同じストップウォッチを常に使用することを推奨します。手動式のストップウォッチは、0.1秒まで計測可能な正確なものを使用してください。フィニッシュ後、マーシャルは計測結果をそのまま記入し、次にそのリザルト担当オフィシャルが測定値の端数を四捨五入せず切り捨て掲示することを推奨します。

(3) スタート：

ランニングスタート（スタート合図を受け車両を発進後、スタートラインを通過する瞬間から計時が開始される。）を採用してください。スタートラインでは一貫した手順をとることが正確な計測のために必要です。まずは正確なスタート位置に車両を合わせる事が大切で、スタートマーシャルは各車を不公平がないよう確実にスタート位置で待機させ、さらに車両がスタートする前にスタートラインから動くことのないことを確認してください。ドライバーがスタートラインより下がることは計測に優位になる場合があります。機械的な方法で作動する、時計と連動したシグナル式のスタートを行うこともできます。

(4) フィニッシュ：

フィニッシュは常に車両の前部がフィニッシュラインを通過しなければならず、手動式のストップウォッチで計測の場合は、計測オフィシャルがこれを確認するために適切な位置についてください。フィニッシュ後、(a) フライングフィニッシュで計測を受けた後に一旦停止ラインを越えた場合および通過したことについて、(b) フィニッシュラインにまたがって止まること（設定する場合は、競技参加者に周知徹底されなければなりません）が義務付けられている場合にそのラインにまたがって止まらなかったことについてはペナルティが課されます。

(5) 結果：

①リザルトボードを設置することにより、競技会中に随時最新の結果を表示する方法は、参加ドライバーにとって最良の方法です。競技結果を競技の最後に発表し、ボード表示の結果と同じものをすべての競技参加者等に配付します。

②競技結果の掲示は、なるべく各クラスが終了する毎にボードに掲示されることが推奨されます。出走しなかった人がいた場合、結果に明記してください。

③競技結果には、すべての参加ドライバーについて（ペナルティも含めた）合計されたタイム、競技参加者氏名、ゼッケン番号、車名、型式を示してください。リザルトには、各オートテストのタイムおよび各ペナルティを含めた適切な注釈も記載してください。

(6) フィードバック：

オートテスト終了後は、参加ドライバーにアンケート等を取り、次回のオートテストを開催する際の参考とすることを推奨します。

以上

マーシャルに対する書面によるブリーフィング形式書面（参考）

「コース上」マーシャル：

競技参加者の走行を確認することが役割です

- －パイロンを移動、転倒していないこと、
- －停止ラインをまたいで停止していないこと、
- －正しいルートを走行完了していること。

正しいルート：

正しい方向（前進あるいは後退）および順序で、ラインとパイロンの周辺を通過することを意味します。

パイロン移動：

「接触」はペナルティとはしないでください。「移動」あるいは「転倒」は、いかなるものもペナルティとします。
・10秒ペナルティ（特別規則に定めがあれば5秒）。

ラインまたぎ：

「タイヤ接地面がラインを通過しなければならない」と定義します。前進の場合は前輪2本、後退の場合は後輪2本がラインを通過する必要があります。

・10秒ペナルティ（特別規則に定めがあれば5秒）。

重要－疑義がある場合は、ドライバーの利益となるように判断してください。

ペナルティ合図：

ペナルティの判定をマーシャルが判断した場合は以下の合図をしてください：

黄旗	－ 真横または真上に静止して提示	－ パイロン移動、転倒
黒旗	－ ミスコース	
赤旗	－ 危険あり。直ちに停止せよ。	
緑旗	－ コースクリア。	

競技参加者がオートテスト中および完了までにペナルティがあった場合、競技長が確認できるまで旗で示してください。

移動：

車両が走行している間のマーシャルの移動は十分留意してください。

総括：

マーシャルはいかなる場合も機敏で明瞭な合図を出してください。旗による合図の際は、腕を半分上げるような動作は避けてください。貴方は、最終判断が委られた審判員です。走行終了までポストを変更しないようにしてください。

誓約書に署名は忘れないでください。

マーシャル活動に感謝します。

マーシャルの役務は、競技運営において必要不可欠なものです。

以上



一般社団法人

日本自動車連盟

モータースポーツ部

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

日本自動車会館13階 TEL:03-3578-4936